

平成25年

4月

第103号

三鷹市市民協働センター

ニュースレター

三鷹市市民協働センターは市民活動を応援し、民学産公の協働によるまちづくりを推進する施設です。

見に来てね!



開催中



日米の子どもたちによる 国際交流絵画展

Project2013

2013年4月1日(月)~21日(日)

世界の名所の一つともなっている米国ワシントンD. C. のポトマック河畔の桜並木は、明治の終わり頃に、当時の尾崎行雄東京市長が日米親善のために贈ってから、昨年でちょうど100年になりました。昨年春、桜の寄贈100周年を記念し、ワシントンの桜祭り会場と三鷹会場とが連携して、日本の小学生とアメリカの子どもたちの絵や写真をともに展示する「日米の子どもたちによる国際交流絵画展」が開催されました。

今年も、昨年に引き続き、三鷹市市民協働センターとMISHOP（公益財団法人三鷹国際交流協会）の2会場で、「日米の子どもたちによる国際交流絵画展」を開催します。ぜひご来場ください。

- ◆会場：三鷹市市民協働センター 9時~21時（火曜日休館）
（三鷹市下連雀4-17-23、電話：0422-46-0048）
MISHOP（公益財団法人三鷹国際交流協会）
9時30分~17時（日曜日休館）
（三鷹市下連雀3-30-12、電話：0422-43-7812）
- ◆主催：友情の桜とカルミアの会
- ◆共催：NPO法人みたか市民協働ネットワーク
公益財団法人三鷹国際交流協会



※上の絵画展に先立ち、日本から米国への桜の寄贈100周年を記念して、ワシントンから里帰りした桜の穂木からつくった貴重な苗木の1本が、100年前当時の関係者のご縁によって三鷹市に寄贈されることとなり、3月31日に、関係者を迎えて国立天文台敷地内にある「三鷹市星と森と絵本の家」で植樹式を行いました。

利用者懇談会を開催しました

2月21日(木) 午後7時~9時 開催

「次の10年に向けて、三鷹市市民協働センターの取り組みについて夢を語り合しましょう。」をテーマに、今後、新たに取り組んでみたい事業や、協働センターのあり方等について、グループに分かれて話し合いました。

「協働センターの機能も広く知られるようになり、利用率も上がったが、まだまだ知らない人もたくさんいるので、もっと宣伝する必要がある」、「協働が目的の誰にでも開かれた組織で、その機能も知られるようになり、市民グループ間のつながりも出てきた。その強みを生かし、世代間交流を促進するような機能や企画を検討し、地域の交流を産み出すきっかけづくりの担い手になってほしい」等、活発な意見交換が行われました。

これらの意見を参考に、これからのセンターの取り組みを考えていきたいと思えます。



もくじ

〈1ページ〉開催中「日米の子どもたちによる国際交流絵画展」、利用者懇談会を開催しました 〈2ページ〉開催しました「こんにちは ご近所大学!」 〈3ページ〉開催しました「思わず手にとるチラシづくり喫茶」、「情報セキュリティ講座」 〈4ページ〉チョコっとあつぷる一む、花植えをしました、三鷹市市民協働センター会員募集

開催しました **近所大学** こんにちは!

シンポジウム

3月10日(日) 参加人数: 46人



コーディネーター 加藤綾音さん
(シンポジウム実行委員)

第1回の「環境」、第2・3回の「企業と市民団体の協働」に続き、4回目の開催となる今回のシンポジウムのテーマは「市民と大学の協働」です。市内の3つの大学から、大学と地域の連携の窓口になっている先生方をお招きして、それぞれの地域貢献や地域交流に関する取り組みについてお話しいただき、ディスカッションするなかで、新たな取り組みを模索・創造していくことを目的に開催しました。協働のパートナーとしての大学と市民団体会い、つながるきっかけづくりの場となりました。

《第1部=パネルディスカッション》

①大学全体のPR ②地域交流に関する取り組み

古本泰之さん(杏林大学外国語学部観光 交流文化学科准教授、地域交流推進室長)



医療を軸とした総合大学で、地域貢献をやってきたが、大学組織として地域に根差すことで他と差別化を図るため、「地域交流課」「地域交流推進室」を設置し窓口を明確にした。「地域交流推進室」の活動は学生が主役。自分たちが学んだものを地域にお返しし、同時に地域で学ぶという取り組みをしている。また、これからは行政・市民・産業とニーズを模索し、あらたな「学び直しの生涯教育(職能に結び付く)」を作り出し、学びの循環を作り上げていきたい。



村上むつ子さん(国際基督教大学サービス・ ラーニング・センター 講師・コーディネーター)

キリスト教の精神に基づいた国際性のある人材を育てる事を理念に開学し、今年で60周年となる。社会の変革で少子高齢化や地域コミュニティの衰退など、様々な課題が生じ、課題解決への貢献を大学に求められるようになった。そこで課題解決のできる学生を育成するため、「サービスラーニング(無償の奉仕活動+学び)」を履修科目とし、年間約60名が履修。75%は国際的なサービス活動を国内外で、25%が国内や地域コミュニティで活動。「There are no spectators, We are all Players」、皆が何かの形で少しずつ力を出し合えばよい。

秋貞由美子さん(ルーテル学院大学社会福祉 学科専任講師、コミュニティ人材養成センター)



「心」と「福祉」と「魂」の高度な専門家を養成することを教育目標に掲げ、大学の社会貢献・地域連携活動拠点として「コミュニティ人材養成センター」が設立された。コミュニティにおける「人に関わる人材養成を展開すること」を目的に、人に関わる専門職の養成、地域づくりに関わる活動者の養成、地域の行政、関係機関・団体との連携事業、地域の関係機関・施設等における本学学生の実習・体験活動等の調整の4つの事業を展開している。今後、さらに積極的に取り組み、地域と学生がコラボした地域貢献活動を展開したい。

《運営協議会から》

かねてより考えていた大学と協働でまちづくり、今回その第一歩を踏み出しました。

先生方には、本企画にご賛同いただき、さらには、積極的な対応をしてくださりました。シンポジウムの成功につながった大きな要因です。先生方には感謝申し上げます。

そして、ご参加の皆さんの発表、先生方のコメント、そしてアンケートにおける皆さんの声には、今後の期待が述べられており、私どもは大いに勇気づけられました。

その今後を確かなものにするには、参加いただいた方々や市民の皆様のアイデアが欠かせません。次は企画する側に入っていて、一緒に企画・運営をしませんか。

《第2部=グループディスカッション》

- ①大学が地域にできること、地域が大学にできること
- ②学生と市民でできること
- ③キャンパス活用術



5つのグループに分かれ、上記の3つのテーマについて、話し合いが行われました。

～意見発表～

- ◆大学は意外に身近であると感じたが、学生とつながりを持つ方法が分からない。受け入れの組織を整備したり、情報を見る化するなど仕組み作りが必要。
- ◆学祭や地域のお祭りでお互いにコラボするなど、やり方は色々あるが、そのための市民掲示板、マッチングホームページ、コーディネーターがあればよいのではないか。また、地域は学生にとって学びの場ということが大切。再び地域に戻って地域の次世代を担ってほしい。
- ◆キャンパス活用では、食堂、教室、図書館の開放など、大学側からの提案があればよい。大学の特色を生かした講習の開催、敷地の開放(防災公園など)を期待する。

《先生方から》

大学への市民からの要望、提案の中には、これまで既にやってきたことも多くあり、そういった取り組みが意外と知られていないことが分かった。もっと地域に対し色々な形で情報を発信していかなければならないと実感した。

地域の大学同士が連携し、それぞれの得意分野を活かして地域の多様なニーズに対応、情報を収集し、大学のニーズとつなげる工夫をしていきたい。

市民の方からの提案は非常に参考になった。お互いにつながりたいという意欲があり、今日の出会いを次につなげていきたい。

《参加者の声》

- 大学の先生方から、今大学でどんなことをし、今後どうしていきたいかという話を具体的にうかがえてよかった。今後つながっていける希望の光が見えてきました。
- 今回のような学びのあり方自体について考える機会をほとんど持つこともなかったため、大変ためになりました。初めてのディスカッション・意見発表でとても緊張しましたが、今後の自分の生き方に強く印象に残るイベントとなりました。

●三鷹市内の大学のキャンパスがいずれも町の周辺部にあるので、まちなかに学生が気軽に集まることができる場所があると交流が広がるかもと感じました。

●ここがキックオフで、新たなアクションが始まって持続できる仕組みが生まれるといいですね。

●三鷹市の大学コンソーシアムとNPO・市民団体との出会いの場をこれから作るということを大いに期待しています。

●大学も学生も市民も、お互いをもっと知り合う必要を感じた。それぞれの大学にどうアプローチしていくかも重要なことと痛感した。ぜひコラボ成功への企画で市民のための番組で実現したい。

広報カパワーアップ・チラシづくり講座

思わず手にとる チラシづくり喫茶

3月9日・23日(土) 参加人数：19人

クリエイティブな空間づくり

ざっくばらんでゆるい中でも勘所を押さえた富岡さんのお話と、奥さま手作りの健康的なお菓子、充実のハーブティー。喫茶店のようなゆったりとした自由な雰囲気の中で、チラシづくりの極意を学べる講座を昨年に引き続き開催しました。時には爆笑ありのリラックスした空間で、素直な気持ちで「伝えたい気持ち」を見つめることができた3時間×2回の講座でしたが、もっとやって欲しいとの声もあり大好評でした。

主役はみなさんひとひとり

単なる座学ではなく、自ら作成することが基本で、さらに1回目と2回目との2週間は宿題をする時間にあてるなど、自主性を最大限活かす講座になっています。宿題の期間には良く自分を見つめ直し、いいアイデアが浮かぶきっかけとなったという発表もありました。

いいとこみっけ

さらに、講座の中では参加者同士が発表を聞いて、気の付いた良いところをメモに書いて手渡すことで、本人の気の付かなかった自分の作品の良いところを教えてあげる、という時間がありました。それが新たな発想につながるとともに、参加者同士が親密になれたと語る参加者もありました。

- 聞くだけの講座が多い中で、ディスカッション式が楽しかったです。
- 他の人のアイデアとか発表を聞いているのが楽しかった。
- たくさん笑って力をもらって元気になった気がします。同じことを身につけるにしても、笑って身につけられる方が幸せです。とても幸せな2日間でした。
- (いろいろなことをあげて) 講座に対する愛情を感じました。



講師：富岡史棋さん
(デザイン応援団)



NPO・市民活動のための身近な情報セキュリティ講座

2月15日(金) 参加人数：19人

ITが日常生活や企業活動に深く浸透し、ネット社会が多様化している中、情報セキュリティ対策が重要な鍵となっていますが、実際の対策に不安を抱いている方も多いと思います。今回、NPO、市民活動に携わる方を対象とした、身近で具体的な事例を取り上げた個人情報保護対策及びパソコン・ウィルス対策の入門講座を開催しました。

個人情報の保護の背景、漏えいの現状・原因・影響、標的型攻撃について、情報セキュリティ基礎、組織としての対応、と幅広く、事例も紹介しながらのわかりやすい内容で、セキュリティの重要性を再認識したと受講者からは大変好評でした。

初心者を対象とした基本的な話を中心に行い、多数の方に理解をしてもらえることができました



講師：江草義直さん
(情報セキュリティ
コンサルタント)



《参加者の声》

- ◆ 機密保持の原則を再確認。非常に分かりやすかった。
- ◆ ウィルス対策の方法を教えてくださいました。全般的に親切に分かりやすい説明。
- ◆ セミナーの内容・運営・講師の方の説明の仕方等わかりやすい
- ◆ メールに対する対策、パソコンのメンテナンスの重要性がわかった。
- ◆ 情報管理について不安を持っているので、セキュリティ対策についての知識を習得し、実用に活かしたい。



おやこでよって チョコっとあっぴる♪む



※時間は午前10:30～正午

	月日	テーマ・内容	参加費	担当
①	4月1日(月)	簡単ベビーマッサージで すやすやネンネ ～気の流れを良くするベビマで免疫アップ～	1,800円 (お土産オイル付き)	花莉屋
②	4月4日(木)	産前・産後の骨盤ケア ～知って整え、お産も産後も安心～	2,000円 (さらし付き)	はっぴいまむず (助産師・整体師 谷京子)
③	4月11日(木)	ほめて育てるママになる ～笑顔コミュニケーション術～	1,000円	コミュニケーション・ファーム
④	4月13日(土)	スリングなど抱っこ用品の選び方、使い方 ～知って整え、お産も産後も安心～	1,500円	はっぴいまむず
⑤	4月15日(月)	一緒におもちゃを作しましょう☆ ～身近な材料をつかって創造力を育もう～	1,000円	ベネシス教育研究所
⑥	4月18日(木)	子育てを楽しむために ～子育てコンビニメンバーとお茶会しましょう～	300円	NPO法人子育てコンビニ
⑧	4月20日(土)	親子で楽しむ「ベビーダンス」 ～産後ママのストレッチ&リズムダンス～	1,500円	Mama & Baby
⑩	4月25日(木)	「ベビーサイン」で楽しい子育て♪ ～赤ちゃんとお手でコミュニケーション～	1,500円 (パパ&ママ参加同額)	Mama & Baby

【定員】10組(先着順)

※ただし⑤は6組、⑦は7組、⑧は8組

【対象】おおむね0～3歳のお子さんを持つ親子
及び妊娠中のお母さん

【会場・申込み・問合せ】 三鷹市市民協働センター

☆全回、保育はありません。

☆お車でのご来場はご遠慮ください。

☆お持ち物など詳しい内容のお問い合わせ・
お申込みは当センターへ

☆お菓子とお茶をご用意しています。



センターの花の 植替えをしました

径3cmほどの中心が黄色く真っ白
い花びらが印象的な「ノースポール」
と、パステルカラーのすらりとした花穂
の風に揺れる姿が優しい「リナリア」を
「生ごみを土に返して活かす会」の皆さん
と植えました。



NPO法人みたか市民 協働ネットワークの 会員募集

あなたのアイデアと行動力を
三鷹市市民協働センターで活かしませんか！

センターの事業企画や運営をご一緒に担って
いただける会員をお誘いしています。
センター事務局までお気軽にお問合せください。

■町会・自治会へ ニュースレターを配付させていただきます

協働センターニュースレターは町会・自治会など地域自治組織に無料で配付させていただきます。組織単位でご連絡いただければお届けさせていただきます。町会・自治会の皆様、ぜひご検討ください。

Editor's note.

編集後記：今年、冬の寒さが厳しく、桜の開花が遅れるのではと思いきや、記録的な早さで開花し、何となく気ぜわしい本格的春の始まりです。ちょっと油断をしていると、すでに五分散りで残念なお花見となることも多く、お花見のタイミングは毎年悩みどころです。しかし、所謂お花見というイベントは、「酒宴」の趣が強く、桜が何分咲きであろうか散りであろうか、桜の気配さえ感じられればよいのかもしれない。ちなみに、当センターの2階は、子どもたちの描いた国際交流の絵が満開です。ぜひお出かけください。

◆ニュースレター配布場所◆

るまばぐーず、一圓(ラーメン店)、グラナダ(レストラン)、きものサロンひさみね、ハローワーク三鷹、NPO法人子ども生活・ゆめこうば、各コミュニティ・センター、各市政窓口、各図書館、その他市の公共施設、近隣市区の市民活動支援センター

発行日：平成25年4月1日

発行：三鷹市市民協働センター

(指定管理者：特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク)

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-17-23

TEL 0422-46-0048 FAX 0422-46-0148

メール：kyoudou@collabo-mitaka.jp

ホームページ：http://www.collabo-mitaka.jp

開館時間：9:00am-9:30pm 受付時間：9:00am-9:00pm

休館日：火曜日(祝祭日は開館し、直近の平日を休館とします。)